

フローリングの施工方法

1. 釘・糊併用工法

1) 合板捨貼下地

- (1) 根太下地、根太に使用する材料は十分に乾燥したもので、仕上げ材を貼り込むのに必要な強度を有するものとする。
- (2) 根太間隔は 300mm 程度と
- (3) 必ず 12mm 以上の耐水合
ように注意する。
- (4) 下からの湿気が多い場所で
気対策を施す。(防湿フィ
ン)
- (5) 遮音マットシートに直接施

2) 仮並べ

- (1) 施工 1 週間前には開梱し、
ために 2 ~ 3 日は仮並べをする。
- (2) 天然木のため、色・柄にバ
並べの際、節、色目、柄のバランスを調
整する。
- (3) また、乱尺のフローリング
短いもののジョイントが集中しないよう
に仮並べする。

3) クリアランス

- (1) 壁際には必ず 5 ~ 10mm
天然木は馴染むまで伸縮を繰り返す。
- (2) ビニル巾木の使用は避ける
- (3) 気候条件、季節、室内など
フローリングの密着部分に隙間を空けて施工
することで、施工後の突き
なる季節に材料が伸びることを考慮して
- (4) 特に乾燥した冬季に施工す
隙間を設ける。
- (5) 複合フローリングは 5 ~
フローリングは 2 ~ 3 枚おきに、フローリ
ングの密着部分に名刺 1 枚分
- (6) 施工スパンが 10m を超える
10mm のエキスパンションを設ける。

4) 合板捨貼下地への施工

- (1) フローリングは、根太に直
- (2) 接着剤と釘の併用で施工する。
- (3) 接着剤は、木質床材用ウレタン樹脂系接着剤を使用する。
- (4) 部分塗布を避け、くし目コテ等で下地全体に塗布する。
- (5) 木工用ボンドは、床鳴り及び黒シミの原因になるので使用しない。
- (6) 釘は長さ 38 ~ 45mm のスクリー釘を使用する。(釘の長さは材厚の 3 倍以上とする)

<https://www.sekouya.com>

- (7) エアガンで釘またはステーブルを雄サネの上面入隅部に 45° の角度で、打ち込む。釘の間隔は 300mm 程度。エアガンがない場合はドリルで穴をあけ、釘を金槌で打ち込み、ポンチ等で釘締めする。
- (8) 釘は下地合板を通して根太にしっかり固定する。
- (9) 木質なので反りや変形がある。施工時には矯正しながらはめ込んでいく。

5) 床暖房対応フローリングの施工

a. 施工上の注意事項

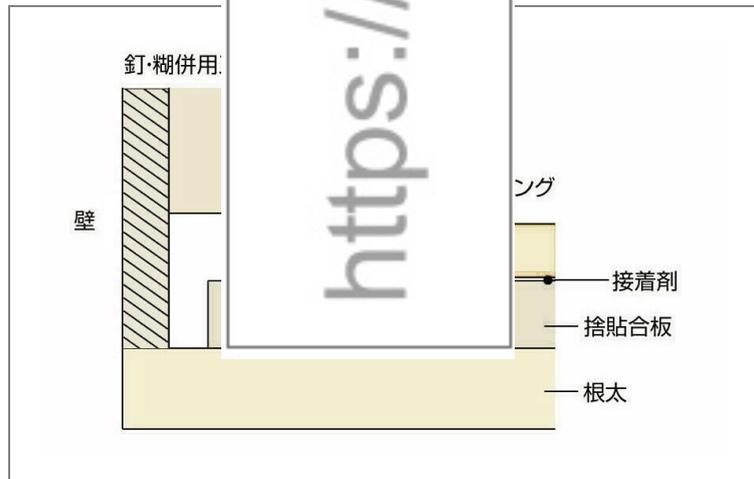
- ・部分的な床暖房は避け、床面全体に施工する。
- ・各床暖房メーカーの施工要領を必ず確認する。
- ・コンクリート・モルタル埋設型床暖房の場合、コンクリート・モルタルを十層フローリングが反る場合がある。
- ・床暖房対応フローリング以外のフローリングは施工しない。

b. 床暖房使用時の注意事項

- ・温度の上げすぎに注意する。室温は 20℃ 程度を保つようにする。
- ・床暖房により床材が暖められることを想定して寸法をとって施工する。
- ・低床吹き出しファンヒーターは併用しない。
- ・熱がこもらないように、ピアノや机など熱の妨げになるようなものを置かない。
- ・床暖房使用期間中は低温で使用する。

併用しない。
併用しない。
併用しない。

7) に維持し、室内の湿度は 35% 以上を維持する。
が、湿度の高くなる季節に材料が伸びる可能性がある。
を床暖房施工したフローリングの上で併用しない。
、じゅうたん、床面の広い家具など、放置しない。



2. 直貼り工法

1) モルタル下地

- (1) セルフレベラーで下地調整
- (2) 下地の乾燥は、モルタル水処理を施す。乾燥が不十分とがある。
- (3) 出入り口、壁等の貼り代は
- (4) 下地の凸凹、ゴミ、ホコリ
- (5) 施工室温は 18 以上を標準
- (6) 遮音マットシートには直接

2mm 以下とする。
下とし、土間に接するコンクリートは防材の反り・伸びなどの不具合が生じることを避けるようにする。

2) 仮並べ

- (1) 施工 1 週間前には開梱し、
- (2) 天然木のため、色・柄にバラ整する。
- (3) また、乱尺のフローリングに仮並べする。

ために 2 ~ 3 日は仮並べする。
仮並べの際、節、色目、柄のバランスを調整し、短いもののジョイントが集中しないよう

3) クリアランス

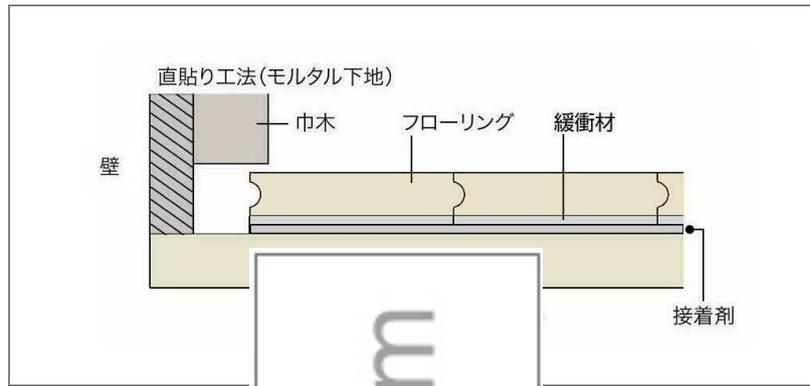
- (1) 壁際には必ず 5 ~ 10mm
- (2) ビニル巾木の使用は避ける
- (3) 気候条件、季節、室内などに応じて、施工後の突き出しを避ける
- (4) 特に乾燥した冬季に施工する場合は、隙間を設ける。
- (5) 複合フローリングは 5 ~ 10mm の隙間を設ける
- (6) 施工スパンが 10m を超える場合は、

天然木は馴染むまで伸縮を繰り返す。
フローリングの密着部分に隙間を空けて施工する季節に材料が伸びることを考慮してフローリングは 2 ~ 3 枚おきに、フローリングは 10mm のエキスパンションを設ける。

4) モルタル下地への施工]

- (1) 接着剤は、必ず直貼り用のウレタン樹脂系接着剤を使用する。部分塗布を避け、くし目コテ等で下地全体に塗布する。
- (2) 木質なので反りや変型がおこる。施工時には矯正しながらはめ込んでいく。
- (3) 接着後はゴムハンマーで十分圧着し、強く踏みつけてフローアの浮きを点検する。

<https://www.sekouya.com>



<https://www.sekouya.com>